

川口隆夫

踊りの主体はどこにあるか
憑依する身体



既成の価値観にとらわれず、
自分を解放し、身体表現してみよう。
新しい景色が見えるかもしれない。
豊かな創造的な未来に向かって。
川口隆夫とともに、
「憑依する身体」を体験する
ワーク、そしてトーク。

2022.3/12 [土]

9時50分～17時00分 (9時20分より受付)

スタジオF (旧 美二三枝子舞踊研究所)

- ワークショップ 川口隆夫
「憑依する身体～踊りの主体はどこにあるか」動く編
- そこが知りたい海外研修 木原浩太
- 座談会 川口隆夫 石井達朗 呉宮百合香 加藤みや子
「憑依する身体～踊りの主体はどこにあるか」語る編
- 受講者によるデモンストレーション

主催：一般社団法人現代舞踊協会

企画・制作：研究企画部 (加藤みや子 馬場ひかり 藤井 香 細川麻実子)



当協会は、新型コロナウイルス感染防止対策をできる限り施して開催いたします。換温、マスクの着用など、ご協力をお願いします。体調の悪い方は、参加をご遠慮ください。

川口隆夫は、変貌する。

作品「大野一雄について」(2013)で、舞踏の世界にひらりとやってきて、世界をあっと言わせた川口は、90年代には、パフォーマンス集団ダムタイプに参加し、活動。その後、演劇、ダンス、美術、映像の垣根を超えて、身体を核とした作品を発表し続け、独自の世界を創ってきた。ジャンルや手法にこだわらず、いろいろな語り口で、コラボレーションも多く行い、時を自由に駆けまくり、自分をさらけ出して、刺激的なパフォーマンスを繰り広げる。一体この人は、何者なのかと、ふと思ってしまう。

学生時代から、脚本、演出も手掛けた演劇作品も発表し、語学も堪能。アカデミックなバックグラウンドを持ちながら、どこか、ワイルドで、アナーキーな、人間臭い川口隆夫は、変容し続けている。舞台上、獣のような鋭い感性と、宇宙人のような不思議なクールさを兼ね備え、崖っぷちに立つ川口隆夫のパフォーマンスは、人を惹きつける。

昨年、「舞踏 ある視点」という企画のディレクションを手掛け、土方巽、大野一雄等を代表とする60年代の日本で始まった舞踏に焦点を当て、自身の作品も含め、アヴァンギャルドな芸術精神を引き継いだ舞踊家たちのダンス作品を配信した。今や、世界中の人たちに影響を与えてきた〈舞踏〉に立ち返っているように見えるが、ただのノスタルジアや、アーカイブ的な考証でもなく、川口にとって、人間の根源的なもの、創造性の原点に立ち返ることは、未来のダンスを産み落とすのに必要な過程なのかもしれない。

コンテンポラリーダンスは、自由に時間と空間をワープできるイマジネーションと、今、ここに生きる自分が存在するダンスであることが面白い。



川口隆夫 (ダンサー・パフォーマー)

photo : Obara Hiroki

1990年よりコンテンポラリーダンスカンパニーATA DANCEを主宰。96年よりダムタイプに参加。2000年以降はソロを中心に、「パフォーマンスとしか言いようのない」(朝日新聞・石井達朗)作品を数多く発表。08年より「自分について語る」をテーマに「a perfect life」シリーズ。そのVol.08「沖縄から東京へ」で第5回恵比寿映像祭(2013)に参加した。近年は舞踏の始祖、土方巽著「踊る舞踏」を元にした「ザ・シック・ダンサー」(2012年〜、共演・田辺知美)、そしてビデオ録画を元に完コピを試みる「大野一雄について」(2013年〜)を発表。後者は世界35都市を巡演。16年にはニューヨーク・ベッシー賞にノミネート。18年秋にはパリ市立劇場にて公演するなど、世界各地で通算80回以上の上演を重ねている。21年にはTOKYO REAL UNDERGROUND フェスティバルにて芸術監督を務め、新作「ミノタウロ・ディスコ」を発表。また12月には劇団ARICAの新作「ミメーシス」に出演する。



石井達朗

舞踊評論家。私立ニューヨーク大学(NYU)パフォーマンス科研究員。慶大、早大、お茶大などで教鞭をとり、現在、愛知県立芸大非常勤講師。韓国、インドネシア、インドなどの祭りをフィールドワーク。関心は、ダンスやパフォーマンスの歴史。トヨタコレオグラフィアワード、朝日舞台芸術賞、カイト実験演劇祭「踊る、秋田」、京都コレオグラフィアワードなどの審査員。著書に「異装のセクシュアリティ」[ダンスは置換である]「身体論の境界点」[男技論]「サーカスのフィルムロジー」[ポリセクシュアル・ラブ]「アジア、旅と身体のコスモス」他がある。



呉宮百合香

ダンス研究、アートマネジメント、コンテンポラリーダンスの上演分析を中心に、ダンスアーカイブに関するリサーチも継続的に行う。フランス政府給費留学生として渡仏し、パリ第8大学と早稲田大学で修士号を取得。国内外の媒体に公演評や論考、インタビュー記事執筆のほか、ダンスフェスティバルや公演の企画・制作にも多数携わる。川口隆夫「大野一雄について」[ザ・シック・ダンサー]「グッド・ラック」のツアーに随行。研究と現場の境界で活動中。https://researchmap.jp/y-kuremiya/



加藤みや子

加藤みや子ダンススペース主宰。森嘉子、藤井公、利子に師事。仏・パコレコンテ、白・巡回公演(国際交流基金主催事業)、米・フェスティバル巡演等に招聘され高く評価される。83年よりアネックス山川ファクトリーを拠点に各地で五感を開くワークショップやアーティスト交流の場、HHWを開催。江口隆夫賞、ニムラ舞踊賞など受賞。現代舞踊協会常務理事、日本大学藝術学部非常勤講師。



木原浩太

加藤みや子ダンススペースメンバー。日本大学藝術学部演劇学科洋舞コース卒業。日本大学総長賞受賞。2012年よりCo.山田うんに所属。国内外の振付家や市立劇場ミュージカルなどに参加。都民フェスティバルへ振付家として史上最年少で抜擢。バレエ団や大学への振付提供なども行うなど、振付家としても活動。国内舞踊コンクール第1位6回受賞。現代舞踊協会奨励賞、オンステージ新聞新人振付家ベスト1中1位8回受賞。

2022. 3/12 [土] 定員40名 (定員になり次第締め切り)

参加費…一般 4,500円 協会員 4,000円 学生3,500円 (半日参加 3,000円)

10:00~12:20 ワークショップ

「憑依する身体～踊りの主体はどこにあるか」動く編
講師：川口隆夫

12:20~13:00

そこが知りたい海外研修 報告者：木原浩太(ベルギー、オランダ)

14:00~15:30 座談会

「憑依する身体～踊りの主体はどこにあるか」語る編
パネラー：川口隆夫 石井達朗 呉宮百合香 加藤みや子

15:30~16:45 受講者によるデモンストレーション

主催：(一社)現代舞踊協会 企画・制作：研究企画部(加藤みや子 馬場ひかり 藤井香 細川麻実子)

●申込方法

現代舞踊協会

検索

Webからのお申し込みは、現代舞踊協会ホームページ内「一日舞踊大学講座」の申込フォームより送信ください。

FAX 03-5457-7732

FAXからのお申し込みは、下記申込用紙に全項目を読みやすい文字で明記の上、左記FAX番号へ送信ください。

●申込締切 3月8日(火)

●お問い合わせ (一社)現代舞踊協会事務局

〒150-0021 渋谷区恵比寿西1-21-3

グレイス代官山402号 TEL.03-5457-7731

一日舞踊大学講座申込書

*協会員で「舞踊指導者認定」申込の方は右に○をして下さい。 認定申込

*ダンスプラン出演者の方は右に○をして下さい。

ダンスプラン出演者

フリガナ

氏名

住所 〒

所属研究所/舞踊団

(○をお付け下さい)

一般/協会員/学生・高校生/半日参加

TEL

FAX

E-mail

*携帯でも可ですが、離連絡の都合上、できるだけパソコンのアドレスをご記入下さい。